

	<h1>れんごう下越</h1> <p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協下越支局 2F TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>	<p>第 110 号 2015.5.15 発行人 福井 正史 1 部 5 円 購読料は会費に含 En la union Esta la fueraza 団結こそ力</p>
---	---	--

「平和を守り、雇用を立て直す みんなの安心のために、さらなる一歩を踏み出そう！」 「ワーク・ライフ・バランス」第 86 回 下越地区メーデー



胎内地区メーデー

今年も県内最初のメーデーとして 4 月 22 日 (水) 胎内市産業文化会館多目的ホールにおいて、第 86 回胎内地区メーデーが開催されました。当日は、胎内市内で働く勤労者 300 名が参加し、「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指して団結して取り組むことを確認しました。その後メーデースローガン、メーデー宣言並びに特別決議の提案は、満場一致で採択されました。また、来賓として、胎内市三宅副市長、県議会議員佐藤ひろお氏、連合下越地域協議会からは久志田事務局長が出席され、激励のご挨拶をいただきました。最後は、中原支部長の「団結がんばろう」の掛け声とともに参加者全員で団結を誓い盛況のうちに第一部を終了しました。第二部のアトラクションでは、恒例の大抽選会が行われ、会場からは一等の折り畳み式自転車他豪華景品に、当選番号が発表されるたびに、どよめきが起こり、参加者の皆さんに大いに楽しんでいただきました。

(事務局長 西山 昭裕)



阿賀野地区メーデー

4 月 26 日 (日) に阿賀野市瓢湖水きん公園にて、第 86 回阿賀野地区メーデーを開催しました。当日は天候にも恵まれ、小さな子ども連れの組合員にも多数参加していただき、昨年度を上回る約 250 人の参加がありました。式典の第一部では、メーデースローガン・メーデー宣言を参加者全員で確認し、「団結がんばろう」の発声で、加入単組の団結を誓い、幕を閉じました。第二部では、ビンゴゲームや輪投げなどのアトラクションを実施。ビンゴゲームでは、番号発表のたびに、参加者が一喜一憂し、大いに盛り上がり、また阿賀野市現業部の作った豚汁や揚げパンが参加者に喜ばれていました。今回のメーデーもこれまで同様に、組合員間の交流を深めることができ、誰もが安心して働き・暮らせる、当たり前前の社会について考える良い機会となりました。

(事務局長 田中朋子)



村上・岩船地区メーデー

村上・岩船地区メーデーは、昨年に引き続き4月29日の休日開催としました。休日ということもあり、子ども連れなど多くの組合員が参加し、12単組300名で、第86回のメーデーを祝い、式典を盛り上げました。お楽しみ抽選会やプラカード審査を実施し、デモ行進で市民へのアピールも行いました。現在の自民党政権が雇用の悪化、格差拡大、平和憲法改悪を進めようとしています。平和で安心して暮らせる社会を実現するため、すべての働くものが連帯し、行動することが重要だと思いを一つにしました。

(事務局長 岸 宗光)



東蒲原地区メーデー

4月29日に行なわれた東蒲原地区メーデーには7単組100名が参加しました。各単組から提案された、国内や地域の情勢に即した決議文を採択し、地域の働く仲間の団結を再確認した集会となりました。

また前日のメーデー前夜祭では6単組13チーム50名が参加し、ボウリング大会を行いました。和気藹々ながらも、レベルの高い白熱したゲームが展開されました。

(支部長 西山 清志)



五泉地区メーデー

五泉支部では4月29日に五泉市総合会館中ホールにてメーデーを開催しました。式典では黒岩衆議院議員をはじめ多くのご来賓の皆様ご列席のもと、総勢350人もの大勢の皆さんに参加していただきました。毎年恒例となったプラカードコンクールと地元特産品を懸けたお楽しみ抽選会も行い、大変盛り上がりました。また、3年ぶりのデモ行進ではすがすがしい青空の下、五泉市市街地を一時間かけて行進を行い、市民に向けアピール活動を行うことができました。

(五泉支部事務局長 井上和巳)



新発田地区メーデー

新発田地区メーデーは、5月1日総勢約450名がカルチャーセンター前広場に集合し、デモ行進による市民へのアピールを行いました。その後、式典を新発田市民文化会館で開催した。第86回メーデーのテーマは「ワーク・ライフ・バランス」です、だれもがやりがいのある仕事と充実した生活を。今、政府は労働者保護ルール改悪の議論を進めています。メーデーの由来である1日24時間を、8時間は労働のため、8時間は休息にそして残りの8時間は自分のために。5月1日に改めて“働くことを軸とする安心社会”安心して働き暮らせる当たり前の社会への思いをより一層強めるメーデーになりました。

(事務局次長 久志田実)